

(5) 終末処理場

各処理区の終末処理場では、沈殿処理と生物処理を組み合わせることで汚水をきれいにし、川や海に放流しています。

施設利用率は類似団体平均値（68.0%）より低い63.8%となっており、類似団体に比べると施設の利用効率が低くなっています。

※ **施設利用率**…処理能力に対する平均処理水量の割合で、施設が平均的にどの程度使用されているかを表す指標です。

① 山口浄化センター

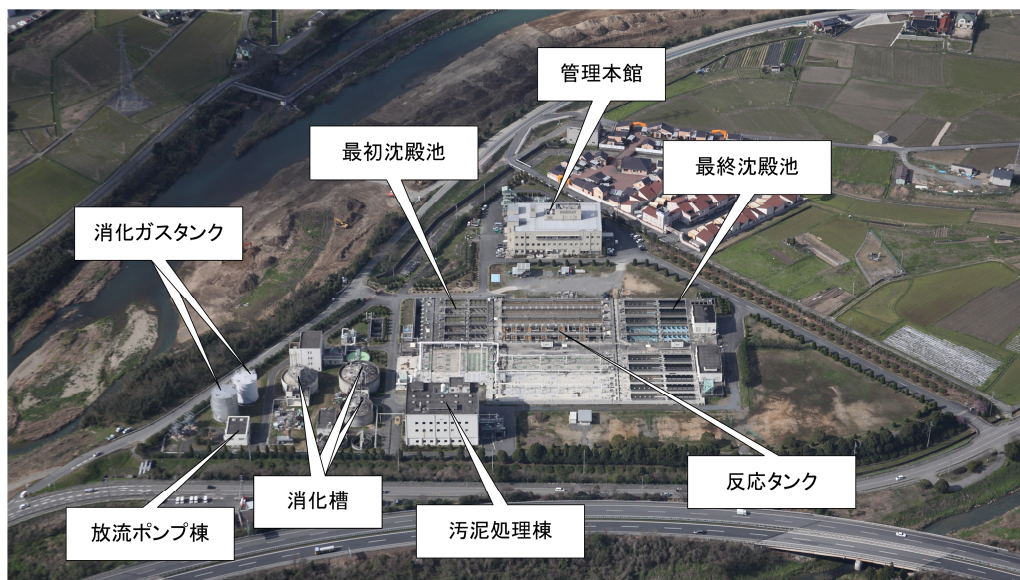
山口処理区の終末処理場で、平成28年度から環境センターに持ち込まれたし尿等を山口浄化センターへ圧送し、あわせて共同処理しています。

放流水については、上水道の取水に影響しないように、4km先の上郷取水場の下流までポンプで圧送しています。

土木構造物の一部及び建築物の一部が、耐震基準を満たしていません。

項目	内容	項目	内容
排除方式	分流(汚水)	構造物耐震化率	31.0%[建築物40.0%]
処理能力 [うち高度処理能力]	53,850m ³ /日 [25,000m ³ /日]	処理水水質 (年平均)	処理前 BOD 158.0mg/ℓ 処理後 BOD 2.6mg/ℓ
平均処理水量	33,884m ³ /日	施設利用率	62.9%
最大処理水量	40,826m ³ /日	最大稼働率	75.8%

- ※ **高度処理**…通常の沈殿・生物処理に加えて、**窒素・リン**の除去を行う処理方法をいいます。
- ※ **窒素・リン**…水中に含まれる窒素やリンが増えると、藻やプランクトンの異常増殖の原因となります。
- ※ **BOD**…水中の有機物などの分解のために微生物が必要とする酸素量を表したもので、値が大きいほど水質は悪いと言えます。法律の基準では15mg/ℓを下回ることでされています。
- ※ **最大稼働率**…処理能力に対する最大処理水量の割合で、施設が最大でどの程度稼働しているかを表す指標です。



② 小郡浄化センター

小郡処理区の終末処理場で、新山口駅に隣接しているため、処理施設をすべて建屋で覆っています。

雨天時には、合流区からの合流水（汚水と雨水）が増加するため、通常の沈殿・生物処理で処理しきれない合流水を高速ろ過施設で処理しています。なお、雨天時の放流水の平均水質については、分流式下水道並みのBOD 40mg/l以下とされており、この基準は満たしています。

土木構造物の一部及び建築物の一部が、耐震基準を満たしていません。

項目	内容	項目	内容
排除方式	分流(汚水)・一部合流	構造物耐震化率	10.5%〔建築物9.1%〕
処理能力 〔うち高度処理能力〕	15,075m ³ /日 〔9,750m ³ /日〕	処理水水質 (年平均)	処理前 BOD 177.9mg/l 処理後 BOD 1.8mg/l
平均処理水量	11,675m ³ /日	施設利用率	77.4%
最大処理水量	14,238m ³ /日	最大稼働率	94.4%

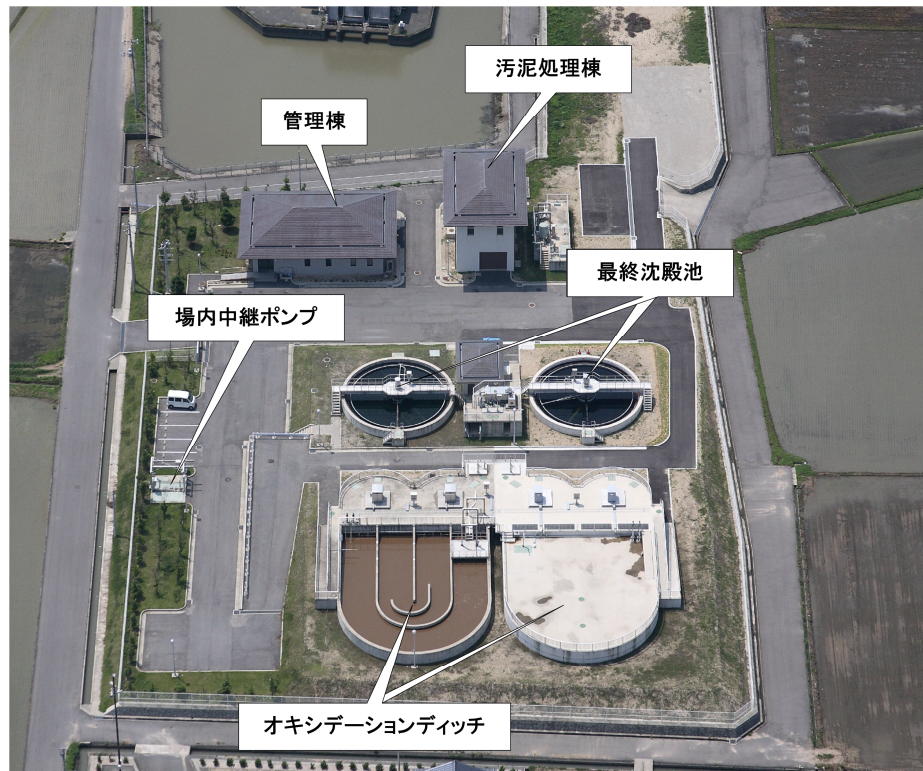


③ 秋穂浄化センター

秋穂処理区の終末処理場で、長浜地区漁業集落排水処理施設の汚水もあわせて処理しています。

施設利用率は類似団体平均値（68.0%）より低い27.3%となっています。

項目	内容	項目	内容
排除方式	分流(汚水)	構造物耐震化率	100.0%
処理能力 [うち高度処理能力]	2,000m ³ /日 [0m ³ /日]	処理水水質 (年平均)	処理前 BOD 195.0mg/ℓ 処理後 BOD 1.1mg/ℓ
平均処理水量	545m ³ /日	施設利用率	27.3%
最大処理水量	629m ³ /日	最大稼働率	31.5%



④ 川西浄化センター

川西処理区の終末処理場で、川西地区農業集落排水処理施設の汚水もあわせて処理しています。

施設利用率は類似団体平均値（68.0%）より低い32.8%となっています。

項目	内容	項目	内容
排除方式	分流(汚水)	構造物耐震化率	100.0%
処理能力 [うち高度処理能力]	2,850m ³ /日 [2,850m ³ /日]	処理水水質 (年平均)	処理前 BOD 205.0mg/ℓ 処理後 BOD 1.1mg/ℓ
平均処理水量	935m ³ /日	施設利用率	32.8%
最大処理水量	1,107m ³ /日	最大稼働率	38.8%

